

## EM・1による新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の不活化効果について

乳酸菌・酵母・光合成細菌を主体とした微生物土壌改良資材：商品名 EM・1(イー・エム・ワン 製造・販売者 株式会社 EM 研究所)について新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の不活化効果試験を実施した結果、5分の反応で99.99%のウイルス感染価の減少が確認されました。

SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)に、試験区はEM・1(原液)、対照区は減菌リン酸緩衝液をそれぞれ1mL添加し、試験開始時と開始5分後のウイルス感染価を培養細胞にて測定し、ウイルスに対する不活化効果の検証を行いました。

測定の結果、試験開始5分後のウイルス感染価の対照区との比較において、試験区EM・1は99.99%の減少が確認されました。

今回の試験結果はEM技術による新型コロナウイルスの不活化効果の可能性を示す結果であり、今後更なる検証を重ねる予定です。

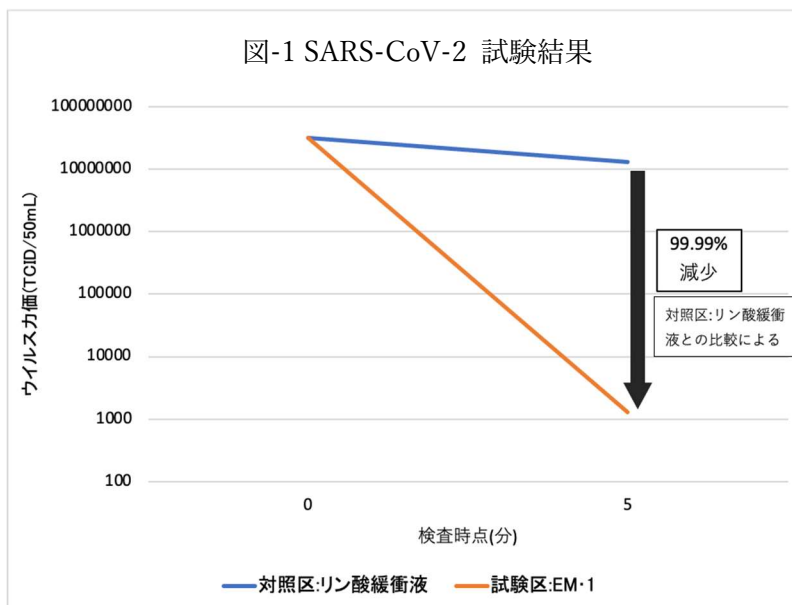


図-2 EM・1



- 試験依頼者 株式会社 EM 研究機構
- 実施機関 株式会社 食環境衛生研究所
- 試験方法 「ウイルス実験学 総論 改訂二版 丸善株式会社 ウイルス中和試験法」を参考実施
- 試験ウイルス SARS-CoV-2(新型コロナウイルス) デルタ株
- ウイルス量測定方法 TCID<sub>50</sub>
- ウイルスの検出限界 10<sup>1.5</sup> TCID<sub>50</sub>/mL

今回の試験結果は試験設定条件下の培養細胞におけるもので EM・1 の通常の使用における効果を示すものではありません。

また、本試験結果を商品の販売の際に利用すると薬機法など各種法令に抵触する恐れがあります。商品を販売する際に利用されることを固くお断りします。

[問い合わせ先]

株式会社 EM 研究機構 EM サポート室  
〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場 1478  
Tel : 098-935-0202 E-mail : info@emro.co.jp